

- ◆日 時 令和元年10月10日(木) 午後7時～午後9時
- ◆場 所 301会議室
- ◆欠席委員 川井委員、広田委員、水野委員、増子委員(4名)
- ◆議 題
 - 1 令和元年度青少年健全育成委員会報告(案)について
 - 2 その他情報交換

◆会議資料

事前配布

- 1 令和元年度青少年健全育成委員会報告提言(案)①
- 2 令和元年度青少年健全育成委員会報告提言(案)②

1 令和元年度青少年健全育成委員会報告(案)について

<議長>

これまでの3回の議論を踏まえ、事務局で2つの提言案を委員の皆様を送りました。この2つの提言を読んだ上でどちらの提言案が良いと思うについて意見をいただきたい。

- 提言案①の方がいい
ひとつひとつのキーワードがしっかり表現されている。
- 提言②の方がよい
家庭・地域・学校・行政という分け方で提言した方がわかりやすい。
- 提言案①、②のどちらにしたら良いか決めかねる。
- 提言案①は内容がだぶっている部分がある。
- 提言案①のほうがわかりやすいが項目が8つと多いのでは。
- 提言案①と②のいいところをそれぞれとって折衷案があれば良いのだが。
- 提言案①と②でサブタイトルが違うのは何故か？

- 形式については提言案②を用い、内容については提言案①のものを取り入れながらまとめているのはどうか。
- これまで青少協の提言については「家庭において」「学校において」「地域において」「行政において」といおう項目立てをしてきた。特にルールがあるわけではないが、それぞれの立場から具体的な提言ができわかりやすいといえる。
- 地域の定義とし地域の中には地域、学校、家庭、それぞれがあり、それぞれが地域の中で何ができるかを考えていけばよいのでは。
- 提言案②の家庭においての3つ提言、学校においての2つの提言、地域においての3つの提言、行政においての3つの提言を提言案①のうしろにもってきたらどうか？

<議長>

それでは提言案①の後ろに提言案②の「家庭において」、「学校において」、「地域において」、「行政において」の提言を付け加えた形でまとめるということでしょうか。

<異議なし>

<議長>

それでは、委員の皆さんにもう一度一読していただき、内容について意見をいただきたい。

- 提言案②に記載のある「クラブ活動などに参加しない子どももいる中で自分が必要とされているという自覚が持てない子どもも存在します。」という文章を提言に追加したい。
- 小学生において自然体験を通して自己肯定感を高めるのは良いが、中学生の場合はボランティアを通して自己肯定感を高めるにした方が良い。
- 提言案①の提言の内容に重複したところがあるので、まとめて方が良い。
- 提言案①をベースとするのであれば、リード文をふくらまして、各項目の説明文をとってしま

うのが良い。項目も8項目は多いのでまとめた方がよい。

今は提言案②の「家庭において」「学校において」「地域において」「行政において」の内容を議論した方がよい。

- 提言案①8つの提言のうち5番目と8番目は「地域において」の中に落とし込むことができる。

<議長>

それでは今日の議論については終了にして次回の会議に続きを行います。

2 情報交換・その他

(関係行政庁の委員より近況報告)